



心が温まる話で
ホッとする時間
を持とう

おうちで簡単シリーズ 19 元気を維持するところ



心が温まるお話編②

店員を思いやる子供

レストランで食事をしていた親子。母親と中学、高校くらいの男子2人。飲み物のクリームソーダが2個運ばれてきた時、「あれっ？コーラフロートを頼んだけど」小声で言うが、店員には聞こえませんでした。母親が「すみません！」と店員を呼ぶと「お母さん、言わなくていいよ！コーラもソーダも変わらないから。」2人の子供は、笑顔でクリームソーダを飲んでいました。



わが子に教えてもらって

朝、慌てて仕事に出かけた私は、間違えて専門学校に通う次男の鍵を持ち出かしてしまい、気づいたのは、夕方自宅に帰り鍵を開けた時でした。次男は帰宅しており、家に入りすぐに謝りました。怒るはずの次男は、「よかった！鍵あった、なくしたかと思った」バイクの鍵もついており、バイクで駅まで行くはずがバスになり、学校へも遅刻、それでも怒らないのは何故か聞くと、「鍵があったことの方がホッとしたから」笑顔で答えてくれました。



生まれてきてくれてありがとう！

身体に障害を持ち生まれてきて、今までに受けた手術は10回ほど。19歳のある日、「大変な思いを沢山したね。ごめんね。」と言うと「これがあったから今の俺があるのだからいいよ。謝らなくて。」ありがとう！

